

(校長室から)

ご挨拶(御礼)

本校のある丸森町金山地区は、ふるさと金山を愛し地域を誇りに思う子供たちを地域ぐるみで育てようと金山自治会や更生保護女性会をはじめ地域の多くの皆様が、本校の教育活動に対し様々なご支援・ご協力をくださっています。

そのような温かい方々に支えられている本校ですが、10月12日に襲来した台風19号により甚大な被害を受けました。学校西側を流れる雉子尾(きじお)川が堤防を越水し、堤防を削りながら水が金山地区に流れ込みました。自宅が浸水被害に遭った児童は5割を超えました。本校も校舎1階が床上1メートルまで浸水しました。

被災後は、町内の丸森小学校の校舎を間借りしての学校再開(10月23日)となりました。現在、児童は片道4kmをスクールバスで通っています。

被災以降、町内並びに近隣市町の教職員、自衛隊員の方々による校舎の復旧活動をはじめ、学校再開日から宮城県大河原教育事務所や丸森町教育委員会、近隣市町の教員の方々によるTT指導、複式授業解消等、授業補助や学習支援をいただきました。

さらに、県内外の多くの皆様から、子供たちへの学用品や励ましのメッセージ、学校備品等のご提供をいただくなど物心両面にわたって温かいご支援やご援助をいただき、心から感謝を申し上げます。お陰をもちまして、子供たちは丸森小学校内において元気に学校生活を送っています。

当分の間は丸森小学校内での学校生活となります。いつ元の校舎に戻れるのかは未定ですが、未曾有の豪雨災害からの復興を目指し、金山地区の復興のシンボルとなる活力と活気に満ちた学校づくりを職員一同、ワンチームとなって進めていきたいと思っています。

今後とも、皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしく願いいたします。

※「金山はONE TEAMだ!」12月17日、代表委員会(児童会)にて竹馬運動会(令和2年1月18日)のスローガンを決定しました。金山地区民と金山小学校が災害からの復興に向けて共に頑張ろうという子供たちの「ふるさと金山」を思う気持ちが込められています。

令和元年12月23日 第二学期終業式を終えて

丸森町立金山小学校
校長 長谷川 修一